

農業高校生徒たちの地道な取組が実を結ぶ

【伊予農業高等学校

教育効果とのリンク 高校の活動が行政を触発

地域の高校の研究実績が評価され行政が着目。地 球温暖化防止と休耕田の有効活用を目的としたモデ ル事業を愛媛県が伊予農業高等学校に依頼すること となった。学校の行事は行政とのタイアップにつな がりやすく、教育効果としても有効な取組となって いる。

環境政策が後押し 国や県の政策が ひまわりプロジェクトを後押し

国の「バイオマス・ニッポン総合戦略」、愛媛県の「バイオマスエネルギープロジェクト」などが打ち出され、こうした地球温暖化防止等に係る政策がこの取組の後押しとなっている。

地域への活動 PRイベントの開催で地域の関心を集める

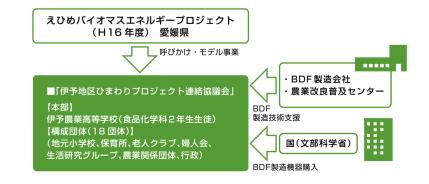
活動紹介の機会として、イベント等を継続的に開催しており、地域や子どもたちからの関心を集めている。また、高校生が取り組む環境活動が反響を呼び、外部からの取材も多数となっている。





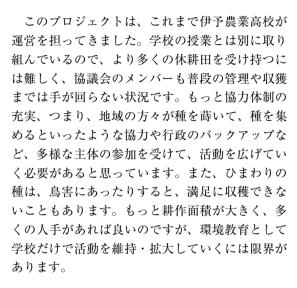
活用した組織と制度

農業高校を中心とした連絡協議会による多様な主体との連携



地域の主体的参画が今後の発展の鍵!

愛媛県立伊予農業高等学校教諭 橋本孝之 氏



一般家庭や、市内にまだまだ点在する休耕地を もっと活用して、ひまわりを植えていけば、より 多くの種を集めることができます。このプロジェ クトが、行政の関わりや、市民運動として広がっ ていくよう、農業高等学校としても今後も精一杯 取り組んでいきたいと思っています。

ひまわりを植えることで、休耕田も減り、まちの景観も魅力的になり、それを見る人々の景観意識の啓発にもなります。また、ひまわりは菜の花よりCO2の定着効率が良いため温暖化防止にも効果を発揮します。本当に良いことだらけなのです。



今後の課題・展望

原料の安定供給と地域活動としての拡大

目標1

安定的な供給体制の 維持、拡充

- ○原料の継続的な確保(ひまわり栽培、 農地の地力回復のためレンゲ等の栽 培を検討)
- ○BDF 増産体制の研究、確立
- ○耕作放棄地・空き地に、ヒマワリを植 える運動をさらに広範囲に展開する。

目標2

地域参画による活動の拡大化

- ○ヒマワリを植える運動をさらに広範囲に展開するにあたって、婦人会の協力を得て、市内の企業、市民団体、小中学校、老人会、NPO、町内会などへ、ヒマワリの種を配る運動を行う。
- ○農業高校が行っている業務用・家庭食 用廃油の回収に加え、市民がその回収 をサポートすることで取組を拡大し ていく。

関連・関係する団体

伊予地区ひまわりプロジェクト連絡協議会 〒799-3111 愛媛県伊予市下吾川1433 Tel: 089-982-1225 BDF製造会社/農業改良普及センター 等